公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）に関する取組みについて

■　平成２８年度　総量最適化・有効活用に関する施設の点検・検討結果

* 大阪府は、「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」（平成２７年１１月）に基づき、所有する公共施設等の最適保有量の実現に向けて、将来の利用需要に応じた施設の有効活用や総量の最適化を図ることとしております。そのため、個々の施設について、概ね建築後２５年・５０年目を目処に、その劣化（老朽）や有効活用の状況を点検し、将来の活用方針を検討します。
* 平成２８年度は、３６施設の活用方針を検討し、その結果については次のとおりです。

**＜点検対象施設＞**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 施設数 | 棟数 | 延床面積（㎡） |
| 庁舎（本庁舎、府税事務所、保健所） | 6 | 6 | 45,454.89 |
| 学校 | 17 | 79 | 190,393.05 |
| 警察施設 | 8 | 9 | 17,934.44 |
| その他（公の施設等） | 5 | 16 | 24,383.23 |
| 合計 | 36 | 110 | 278,165.61 |

**＜点検結果＞**

点検の結果、

**Ⅰ**　　施設の老朽化が進んでおらず、有効活用されているものは計画的な改修（予防保全）しながら「維持」することとしました。

**Ⅱ**　　有効活用されているが、狭隘化しており、通常の維持・修繕を加えても安全性や府民サービスを確保できない状態や

改修により維持するより建替えのほうがコスト上有利なものは「建替え」することとしました。

**Ⅲ**　　施設の老朽化が進んでおらず、有効活用されていないものは「有効活用」に取り組むこととしました。

**Ⅳ**施設の老朽化が進んでおり、有効活用されていないものは「撤去」「廃止」することとしました。

Ⅲ（有効活用）

Ⅳ(撤去・廃止)

tekkyo

Ⅱ（建替え）

・泉北府税事務所

・金剛コロニー（一部）

・保健所（富田林、和泉、茨木）

・学校（旭高校　他1６校）

・警察待機宿舎（中央①単身寮）

・警察署（西、水上、池田、貝塚、大正）

・浜寺公園（クラブハウス）⇒　減築

・警察待機宿舎（城東②待機宿舎）

・警察署（八尾）

・本庁舎（一部）

・砂川厚生福祉センター（一部）

・金剛コロニー（一部）

Ⅰ（維持）

・服部緑地（野外音楽堂）

優

高

低

劣

【その他】　継続協議　　３施設

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 施設数 | 棟数 | 延床面積（㎡） |
| Ⅰ　維持 | 28 | 91 | 214,229.07 |
| Ⅱ　建替え | 3 | 3 | 7,641.31 |
| Ⅲ　有効活用 | 1 | 1 | 1,487.77 |
| Ⅳ　撤去・廃止 | 3 | 9 | 44,837.31 |
| 【その他】　継続協議 | 3 | 6 | 9,970.15 |
| 合計 | 38 | 110 | 278,165.61 |

（注）　施設数については、砂川厚生福祉センター、金剛コロニーが棟ごとによって2つの活用方針があるため、2回計上されます。

○　上記の３６施設のほか、評価指標（※）により３８施設の有効活用の状況を点検しました。

（※）「減損の兆候を判断する指標」：固定資産に減損が生じている可能性を示す事象があるかどうかを確認するもの。固定資産の「減損」とは、固定資産に現在期待される

行政サービス提供能力が当該資産の取得時に比べて著しく減少し将来にわたりその回復が見込めない状態又は固定資産の将来の経済的便益が著しく減少した状態をいう。

平成２８年度は、平成２６年度の指標数値が0.8未満（１を下回るほどサービス提供能力が減少している）の施設を対象としております。